

「県南地域感染症情報」に関する御意見、御質問等はFAXまたはメールでお願いします。
 メール返信の方は、右下の「感染症情報連携シート」をクリックして記載願います。
 県南保健所生活衛生部医療薬事課
 FAX0248-23-1252 メールアドレス kansen_kennan@pref.fukushima.lg.jp

感染症情報連携シート

☆県南地域での「麻しん」は、感染拡大が終息しました。

平成30年6月27日から発生が確認されていた麻しんは、7月9日を最後に新たな患者がでていないため、8月6日に感染拡大は終息したことが発表されました。

※麻しんに感染しないためには、定期予防接種を2回受けることが重要です。

【定期予防接種の時期】 第1期：1歳以上2歳未満

第2期：小学校就学前の1年間（年度内に6歳になる者）



注意!!!

ヘルパンギーナの流行が続いています！！



県南地域の小児科定点医療機関からの報告数は、第27週から増加しています。

ヘルパンギーナは、夏季に流行する小児の急性ウイルス性咽頭炎です。高熱と口腔内の水疱性発疹を特徴とする夏風邪の代表疾患です。小児や保護者に対し、手洗いやうがいなど感染予防に注意するよう呼びかけをお願いします。

- ◆感染予防
- ・手指を介した接触あるいは飛沫感染をするので、手洗いを励行してください。
 - ・特に、おむつ交換後は手洗いを忘れずに。
 - ・タオルなどの共用は避けましょう。



厚生労働省ホームページ
 /わかりやすい感染症Q&A
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou16/01.html>

福島県内において、梅毒の報告が続いています。

全国的に梅毒の報告件数が増加しています！！

梅毒は、性感染症の一つです。感染すると感染部位に痛みのない赤い腫れ物ができるなど、全身に様々な症状が出ます。治療せずに放置すると、脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。

また、妊娠している人が感染すると、胎盤を通して胎児に感染し、死産、早産、新生児死亡、奇形がおこることがあります(先天梅毒)。福島県内の状況を見ると平成27年以降増加が目立ち始め、27年は前年の3倍、28年は前年の2.9倍の69件となり、29年は67件、30年は既に54件となっています。

県南地域では、平成20年以降報告がありませんでしたが、平成27年から毎年1～2例の報告があります。

★予防のポイント

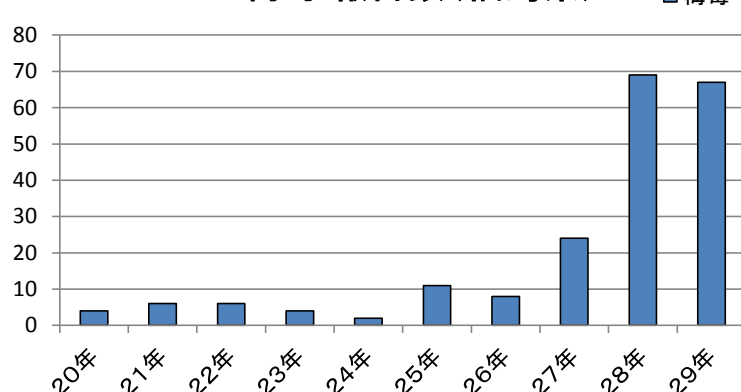
- ・不特定の相手との性行為は避けましょう。
- ・感染の疑いがある場合や不安な場合は、早期に受診、検査を受けましょう。

☆県南保健所では、HIV・梅毒検査を実施しています。(毎週木曜日 予約制)



厚生労働省ホームページ
 /梅毒に関するQ&A
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html

梅毒報告数(福島県)



梅毒報告男女別(H29)

